

2025年12月9日

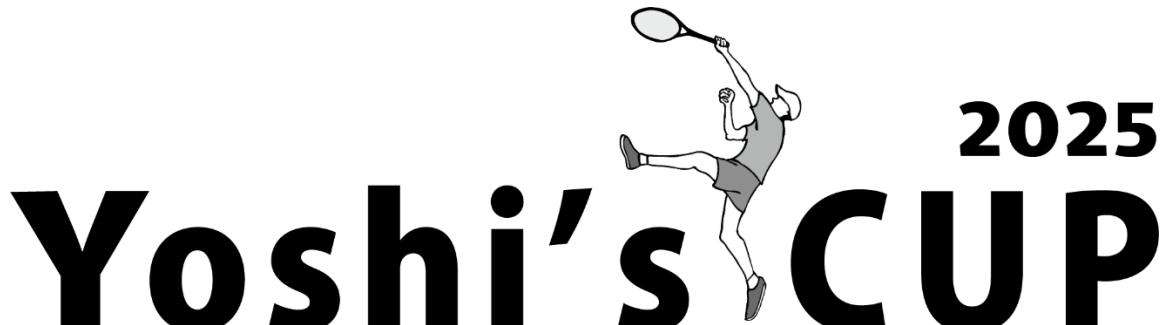
NOK株式会社

5回目の大会スポンサー

NOK、「Yoshi's Cup 2025」にてジュニアテニス選手の世界への夢と挑戦を支援

12月12日（金）～14日（日）有明テニスの森にて開催

NOK株式会社（本社：東京都港区芝大門、代表取締役 社長執行役員 グループCEO：鶴 正雄、以下「NOK」）は、2025年12月12日（金）～14日（日）に有明テニスの森（東京都江東区）で開催される「Yoshi's Cup 2025」の大会スポンサーを継続し、世界に挑戦するジュニアテニス選手を支援します。本大会への協賛は2021年の第1回大会から継続しており、今年で5回目となります。



Yoshi's Cup ロゴ

Yoshi's Cup はプロテニスプレーヤーの西岡良仁選手が主催する、『世界で羽ばたける日本人テニスプレーヤーの育成』を目標とする大会です。16歳以下の有望なジュニアテニス選手が集まり、今年は初めて、日本テニスの聖地として知られる「有明テニスの森」で対戦します。大会の模様は、動画配信サービス「U-NEXT」と登録者数25万人の人気テニスYouTubeチャンネル「スターテニスアカデミー」で配信されます。

■大会スポンサー継続にあたって

「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を実現し、グローバルにモノづくりを行うNOKグループは、次世代の若者を支援し、挑戦を支え、社会に貢献したいと考えています。ジュニアテニス選手の世界への挑戦をバックアップするYoshi's Cupの理念に賛同し、2021年の第1回大会から毎回大会スポンサーを務めています。

また、NOKグループの「Our Values (NOKの大切にする価値観)」に、西岡選手もアスリートとしても重要な価値観であると共に感し、4つのバリュー (RESPECT, IGNITE, EXPLORE, EXCEED) を大会コート

に掲出します。選手たちが試合を通じて価値観を意識し、競技面だけでなく精神的な成長にもつなげることを目指しています。

■ Yoshi's Cupについて

世界ランク 111 位のプロテニスプレーヤー西岡良仁選手が「次世代の選手が世界で活躍するための基盤を築きたい」という想いから、2021 年にスタートし、今年で 5 回目を迎えるジュニアテニス大会です。大会には全国の 16 歳以下のジュニアテニス選手の中から、西岡選手が実績やプレーを評価した 8 名が出場します。

優勝者には遠征費用やコーチ代などに活用可能な活動支援金 500 万円が贈呈されるほか、国際テニス連盟 (ITF) 公認の世界テニスツアーにおける主催者推薦枠や西岡選手も育成を受けた世界的有名なスポーツトレーニング施設「IMG アカデミー」での短期留学の機会が提供されます。

これらの支援を通じて、Yoshi's Cup は将来有望な若手選手たちが世界の舞台で活躍するための大きな一歩を踏み出す機会を提供することを目指しています。

■ 「Yoshi's Cup 2025」 開催概要

- ・大会名称：Yoshi's Cup 2025
- ・開催日：2025 年 12 月 12 日（金）～14 日（日）

12 日（金）15:00～20:00 開会式、予選

13 日（土）10:00～19:00 予選

14 日（日）10:00～20:00 順位決定戦、準決勝、決勝

- ・会場：有明テニスの森 インドアコート（東京都江東区有明 2-2-22）

- ・配信 URL：全試合 [U-NEXT https://video.unext.jp/genre/tennis](https://video.unext.jp/genre/tennis)

12 月 12 日・13 日 YouTube チャンネル「スターテニスアカデミー」

<https://www.youtube.com/channel/UCfFBFTkvFcv8e42v4p8mpnA>

リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 CEO オフィス コーポレートアフェアーズ コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03 - 5405 - 6372 Mail : mb_nok_corporate_affairs@jp.nokgrp.com

■ NOK 株式会社

NOK グループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げ、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。 15 の国と地域に所在する約 38,000 人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。 自動車をはじめとするモビリティ、PC やスマートフォンに代表される電子機器、OA 機器、医療・ヘルスケア機器、産業用ロボット、そして人工衛星など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供し続けます。